

あてよう！都道府県

シルエット画像をテクスチャで塗りつぶして、問題形式にしてみます。ワードで大切な、オブジェクト操作のトレーニングです。補助テキスト「だれかな？だれかな？」の、簡易版。

1. 材料の準備

- ①添付のシルエット画像…付属の、香川県、青森県、静岡県、広島県、神奈川県のシルエット画像を、デスクトップに用意してください。
- ②日本地図…右図のような、都道府県の区切りのある日本地図を、インターネット上から探してください。
- ③写真…各県を象徴する写真を、インターネット上から2つずつ集めてください。
- ④イラスト…各県を象徴するイラストを、インターネット上から1つずつ集めてください。
- ⑤イラストの加工…④のイラストの背景を、画像処理ソフトなどで好みの色に塗りつぶしておきます。



〔補足〕ワードでイラスト加工をする方法

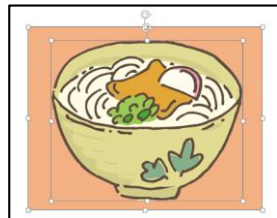
- ①四角形を挿入し、枠線なし、好みの色で塗りつぶします。



- ②用意したイラストを挿入し、①の上に重ねます。



- ③「背景の削除」で、イラストの背景を削除。



- ④①と③を、同時に選択して、コピー

- ⑤「貼り付け」のオプションで、「図」として貼り付け。

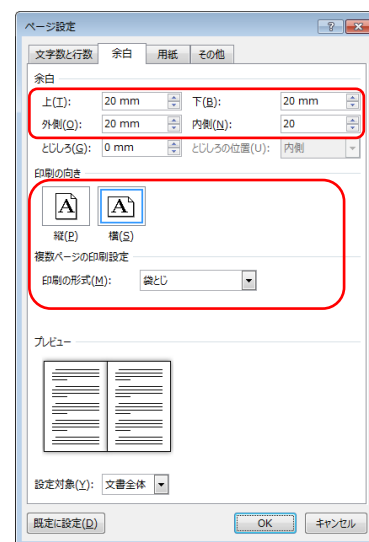
- ⑥⑤の上で右クリック→「図として保存」。



2. ページ設定

①ワードで新規文書を開きます。

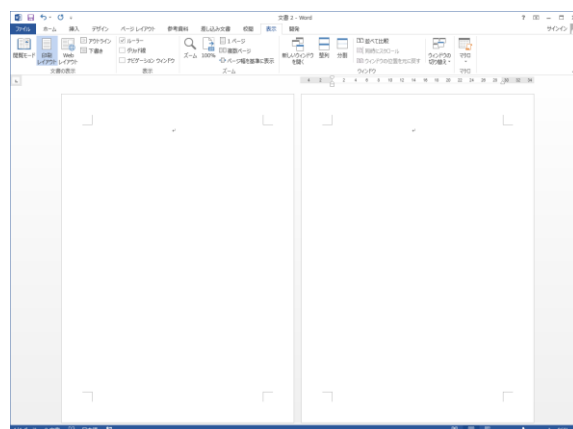
②「ページレイアウト」タブ→「余白」→「ユーザー設定の余白」で、余白を上下左右とも 20mm 程度に。また、「用紙の向き」は横向きに、「印刷の形式」は袋とじにします。



③いくつか改ページを入れ、数ページの文書にしておきます。

④「表示」タブ→「複数ページ」を選び、見開き 2 ページが表示されるようにしておくと、作業しやすくなります。

⑤「都道府県」と名前をつけて、保存します。



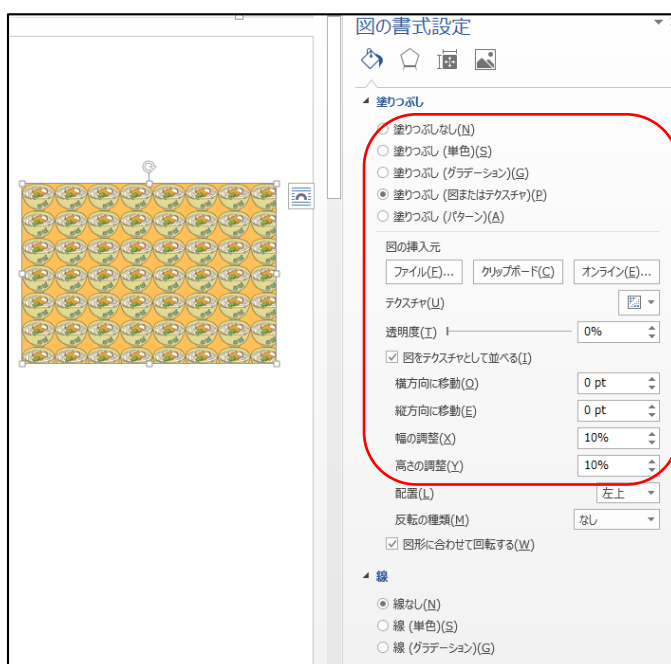
3. シルエット画像の塗りつぶし

①四角形を挿入します。

②「図の書式設定」を開き、枠線なしに。塗りつぶしは「図またはテキスト」を選択し、「ファイル」から 1 で用意したイラストを指定。

③「図をテキストチャとして並べる」にチェック。「幅の調整」「高さの調整」の数値を調整して、イラストの大きさを整えます。

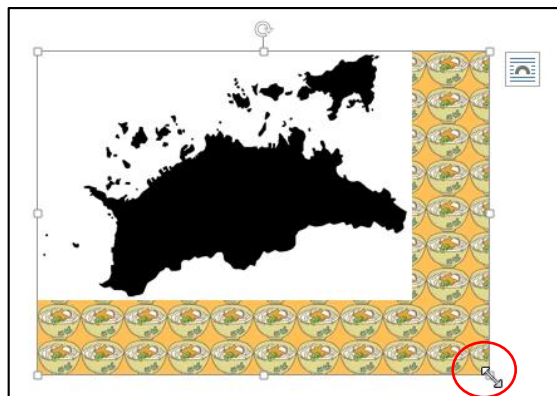
※「図の書式設定」は、「書式」タブ→「図のスタイル」のダイアログボックスランチャーまたは「図を右クリック→図の書式設定」で表示されます。



Word176

④シルエット画像を、挿入します。

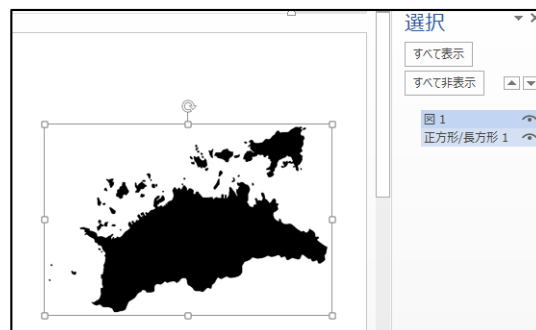
⑤四角形が、シルエット画像とぴったり重なるように、位置・大きさを調整します。



※⑤は、次のようにすると、正確に重ねられます。

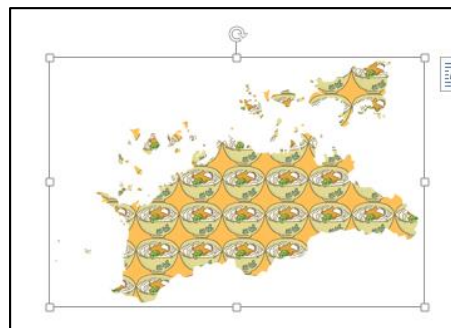
(a)「書式」タブで、シルエット画像のサイズを確認→四角形のサイズを、同じ数値にします。

(b)「選択」ウィンドウを表示して、四角形とシルエット画像を同時に選択→「オブジェクトの配置」で、「左右中央揃え」「上下中央揃え」。



⑤シルエット画像を選択して、「色」→「透明色を指定」で、黒い部分を透明にします。

⑥「選択」ウィンドウで、四角形とシルエット画像を同時に選択して、グループ化。



4. 各ページの作成

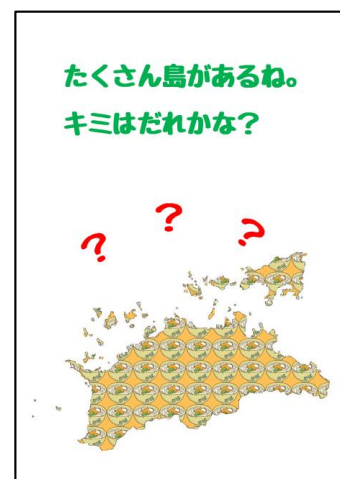
(1) 1 ページめ

①3で作成した県イラストを、下部に配置します。

②ワードアート（または枠線・背景が透明なテキストボックス）を挿入→問題文を書きます。

③②と同様にワードアート（またはテキストボックス）を挿入し、「?」と入力。

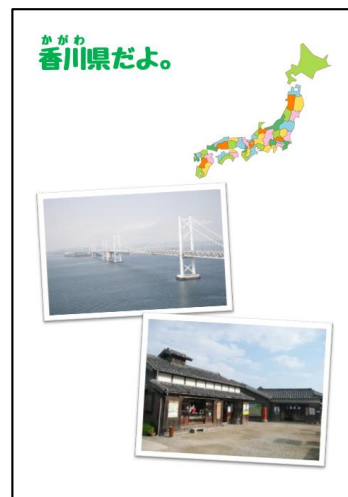
④③をコピーして、適当に配置・回転させます。



Word176

(2) 2 ページめ

- ①用意した日本地図や写真を、配置します。
- ②写真は、「図のスタイル」でお好みのスタイルに。少し回転させてもいいかも。
- ③ワードアート（またはテキストボックス）で、答え「～県だよ。」を入力します。



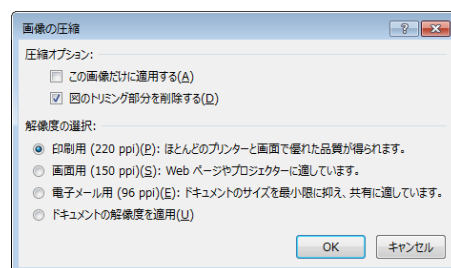
- ④赤い矢印を挿入し、日本地図のどこが答えか、示します。
- ⑤図形「メモ」を挿入して、県の特徴や写真の解説を入れます。



同様にして、他のページも作成しましょう。

※オブジェクトが多くなると、ワードが動きにくくなることがあります。こまめに上書き保存してください。動きが悪くなったら、次のように対処してみましょう。

- (1)「書式」タブ→「図の圧縮」で、図の解像度を下げる。
- (2)上書き保存したら、いったん文書を閉じて、再度開く。



サンプルは、こちら↓

<http://goo.gl/sdzd5S>